

信号機のない横断歩道での歩行者横断時における一時停止状況全国調査
2018 年(JAF)

はじめに

これは 2018 年 10 月に JAF(一般社団法人日本自動車連盟)が発表した調査結果を同連盟の H/P から引用して紹介するものである。

JAF は 2016 年 6 月に「交通マナーに関するアンケート調査」を実施した。その設問の中に「信号機のない横断歩道で歩行者が渡ろうとしているのに一時停止しない車が多い」と思う人の割合を調べるものがあり、「とても思う」が 43.7%、「やや思う」が 42.5%、合計 86.2%であった。

これを踏まえ、横断歩行者の事故や死傷者の減少の一助とするため、JAF では 2016 年から全国で実態調査を行っている。2017 年には最も良好な長野県だけを公表したが、一時停止率が伸びないので、認識を新たにしてもらうため 2018 年にはすべて公表した。

■ 調査の前提条件

- 調査期間及び調査時刻

2018 年 8 月 15 日～9 月 13 日のうち月曜日から金曜日までの平日の 10 時～16 時の間。

- 調査の場所

各都道府県 2 箇所ずつの信号機が設置されていない横断歩道(全国合計 94 ヲ所)。センターラインのある片側一車線道路で、原則(場所によって例外あり)として調査場所の前後 5m 以内に十字路及び丁字路交差点がない場所で、道路幅員が片側 2.75m～3.5m、交通量が 3～8 台/分(目安)とし、制限速度が 40～60km/h 程度の箇所(調査場所は非公表)。

- 天候条件

小雨を含む雨天時以外に実施。

- 調査対象

上記横断歩道を通過する車両で歩行者側の車線を走行する自家用自動車、自家用トラック(白ナンバー)。

- 調査方法

横断歩行者は JAF 職員で、横断歩道の立ち位置や横断しようとするタイミングを統一している。1 箇所で 50 回横断する。各都道府県 2 箇所なので調査回数は 100 回となる。

- 調査台数

全国で合計 11,019 台であった。

■ 調査結果

全国 11,019 台を対象に調査したところ、歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止した車はわずか 948 台(8.6%)であった。これは前年比プラス 0.1%であり、9 割以上の車が止まらないという結果となった。

- 信号機のない横断歩道における車の一時停止率の全国平均
2016年:7.6%、2017年:8.5%、2018年:8.6%。

- 信号機のない横断歩道における車の一時停止率の都道府県別数値

| 順位 | 都道府県名 | 停止率 | 順位 | 都道府県名 | 停止率 | 順位 | 都道府県名 | 停止率 | 順位 | 都道府県名 | 停止率 |
|----|-------|--------|----|-------|--------|----|-------|-------|----|-------|-------|
| 1 | 長野 | 58.60% | 13 | 岡山 | 10.80% | 25 | 鹿児島 | 7.00% | 37 | 大阪 | 4.00% |
| 2 | 静岡 | 39.10% | 14 | 長崎 | 10.00% | 26 | 大分 | 6.70% | 38 | 京都 | 3.80% |
| 3 | 石川 | 26.90% | 15 | 愛媛 | 9.90% | 26 | 山口 | 6.70% | 39 | 福島 | 3.50% |
| 4 | 島根 | 26.50% | 16 | 沖縄 | 9.50% | 28 | 香川 | 6.10% | 40 | 宮城 | 3.40% |
| 5 | 鳥取 | 25.60% | 17 | 茨城 | 9.20% | 29 | 群馬 | 5.80% | 41 | 岐阜 | 2.20% |
| 6 | 愛知 | 22.60% | 18 | 熊本 | 8.80% | 30 | 山梨 | 5.60% | 42 | 青森 | 2.10% |
| 7 | 福岡 | 18.40% | 19 | 滋賀 | 8.30% | 31 | 岩手 | 4.90% | 42 | 東京 | 2.10% |
| 8 | 神奈川 | 14.40% | 20 | 佐賀 | 8.00% | 32 | 富山 | 4.80% | 44 | 和歌山 | 1.40% |
| 9 | 新潟 | 13.80% | 21 | 宮崎 | 7.90% | 33 | 福井 | 4.50% | 44 | 三重 | 1.40% |
| 10 | 千葉 | 11.90% | 22 | 埼玉 | 7.80% | 34 | 徳島 | 4.40% | 46 | 広島 | 1.00% |
| 11 | 奈良 | 11.80% | 23 | 秋田 | 7.60% | 35 | 北海道 | 4.20% | 47 | 栃木 | 0.90% |
| 12 | 兵庫 | 11.10% | 23 | 山形 | 7.60% | 35 | 高知 | 4.20% | | | |

おわりに

ヤフーの「乗りものニュース」(2019年3月6日配信)によると、ワースト1位となった栃木県警では、「止まってくれない『栃木県』」というスローガンを掲げた啓発チラシを5万枚、ポスターを2千枚作成し、街頭で広報活動などを行っている。

また、ワースト3位とされた和歌山県では、2019年2月19日、県警の主導で県や近畿運輸局、JAF和歌山支部など関係団体を集め、対策会議を行った。同じくワースト3位とされた三重県警でも「横断歩道又は自転車横断帯あり」の菱形路面標識を2千箇所にわたって整備するという。

上記「乗りものニュース」によると、国交省が発表した2017年における自動車乗車中の交通事故死者数は、日本がG7(日本、アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア)で最も低い一方、歩行中及び自転車乗車中の死傷者数は人口10万人当たり2.0人でワーストだそうである。

各社本部の安全担当各位は、上記都道府県の停止率データを参考にして指導されたい。

以上